誌上学習会 11 月号　自宅学習のすすめ　62

テーマ「教育」
学校での会話です。
動画のポイントをみていきましょう。



①「子どもがゲームにはまって困っています」

先生：最近、授業中にぼーっとしている時間が増えています。

まず「あなた/息子」と表現して、誰の話であるかを明確にしています。
文末に指差し(Pt3)は、息子を意味しています。
・「指文字『ぼ』/多い」
ぼーっとしている様子を見る機会が多いと表現しています。

ご家庭での様子で何かお変わりはありませんか？

文末に「大丈夫？」とつけることで、先生の気遣いが伝わります。
日本語の尋ね方にも、問いただすのではなく気遣いがありますよね。

保護者：実は最近ゲームにはまっています。寝る時間が遅くなっているのです。
私が叱っても一向に止めません。先生からも言ってください。

「わたし/怒る/ぱ～」 父の言うことをきかない息子の様子を「ぱ～」と表現。
右手親指で表現した息子に向かって左手で「怒る」。ほんの短い「間」に首を横に振り、息子の状態への反応を示しています。そして諦めの表情になり「ぱ～」と表現しています。

先生：そうだったのですね。ゲームのことでお困りの家庭は、お宅だけではありません。
ゲームをする時間と就寝時間について、学校でも検討します。ルールを一緒に確認するようにいたしましょう。

・「お困り」を「問題/悩み」と表現。
「あなた/だけ/違う/他/指差し/同じ」「指差し/同じ」は、空間利用によって複数の家庭を表現しています。
・「あなた/家族/私(学校)/一緒」
一緒は、誰と誰なのかを明確にしています。

②「入学前の準備、かばんと靴はどんなものを準備しますか」

先生：入学式までに準備するものについて説明します。

「準備する」は「準備／必要／何」と表現しています。



カバンは華美でないものにしてください。

生徒：華美でないって？

先生：黒、紺等落ち着いた色のものです。

動画は「黒、紺等」の表現がありません。ご了承ください。

生徒：落ち着いた色って？

先生：黒、紺です。

「例えば／黒／ 紺／意味」 「例えば…」はよく使われる表現方法です。

形は、両手が空くものにしてください。

生徒：？・？？

先生：手話ができるように、リュックやななめがけにできるカバンにしてください。

「例えば／手話／必要／手話／～ため／ななめがけ／リュック／手話／頷き／良い／意味」
両手を空けている理由の説明です。

生徒：わかりました。

先生：靴は、運動靴です。こちらも華美でないものにしてくださいね。

「次」と表現してから説明が始まります。かばんの説明が終わり、次の説明が始まることが明確になります。

生徒：（自信をもって）黒や紺ですね。

先生：白でもいいです。